

1 エイジツ末

2 生薬の性状の項を次のように改める。

3 生薬の性状 本品は灰黄褐色又は黄赤褐色～暗赤褐色を呈し、
4 僅かににおいがあり、味は僅かに粘液様で、渋くて、苦く、
5 また僅かに酸味がある。

6 本品を鏡検 (5.01) するとき、極めて厚壁で径35～70 μm
7 の毛の破片、褐色のタンニンの塊を含む表皮及び下皮の破片、
8 灰褐色の内容物を含む細胞壁の薄い基本組織の破片、細い道
9 管の破片、シュウ酸カルシウムの単晶、双晶又は集晶(果床
10 の要素)、厚壁組織の破片、繊維群の破片、細い道管の破片、
11 褐色のタンニン又は粘液を含む表皮の破片(果皮の要素)、ア
12 リューロン粒又は脂肪油を含む多角形の内乳の破片、多角形
13 でタンニンを含む外面の表皮の破片、やや長形で側壁が波形
14 の内面の表皮の破片(種子の要素)を認める。

15

16